

三心を磨く

学校だより No. 1

令和4年4月6日(水)発行

須坂市立東中学校

文責: (教頭)

<http://www.azuma-school.ed.jp/>

令和4年度 須坂市立東中学校 入学式・始業式

◇◇◇ 希望を胸に44名の新入生を迎え 全校143名の新たなスタートです ◇◇◇

【式辞】

日の光にまぶしさが増し、万物が躍動する春が今年も巡ってきました。このよき日に、石坂PTA会長様をご来賓に迎え、新入生保護者の皆様方のご臨席を賜り、このように入学式が挙行できますことを、心より感謝申し上げます。

四十四名の新入生の皆さん、東中学校へのご入学おめでとうございます。皆さんの入学を、二・三年生、教職員一同心待ちにしていました。

新しい生活や出会いへの期待と不安を胸に入場してくる皆さんは、初々しさの中にも凜々しさを感じさせる姿でした。皆さんの期待が一層膨らみ、安心して中学校生活が送れるように、先生方も上級生も精一杯応援していきたいと思えます。

さて、「心のスイッチ」という詩を紹介します。

「人間の目は、ふしぎな目、見ようという心がなかったら、見えても何も見えない。

人間の耳は、ふしぎな耳、聞こうという心がなかったら、聞いていても何も聞こえない。

同じように先生の話聞いていても、ちっとも聞こえてこない人がいる。

本当にそうだと、腹の底まで聞く人もいる。

「よしやるぞ!」と心のスイッチが入ると、頭も体もすばらしいはたらきを始める。

心のスイッチは、人間をつまらなくもし、素晴らしくもしていくんだ。

電灯のスイッチが、家の中を明るくもし、暗くもするように。」

皆さんがこれから過ごす三年間は、心身ともに大きく成長し、大人になる準備をする、人生の中で最も大事な時期ですが、あっという間に過ぎてしまいます。

そこで、この貴重な三年間を有意義なものとするために、本校の学校目標「三心自立」に重ね、三つの「心のスイッチ」について話します。

一つ目は、「学ぶ心」のスイッチです。十二月の体験授業の講話でも触れましたが、皆さんが生きるこれからの社会は、新しい知識や情報、技術によって大きく変化していく社会です。そしてその変化はすでに始まっています。大きく変化し続ける社会の中で求められるのは、変化に対応する能力であり、正解が一つではない課題を解決していく力です。そのためには、生涯に渡って学び続けることが必要になります。皆さんはそのための基礎を身につけるために「学ぶ心」のスイッチを入れなくてはならないのです。自分を高め、自立した大人になるための第一歩です。

二つ目は、「思いやる心」のスイッチです。皆さんも含め、東中学校の生徒には、一人として同じ人はいません。足の速い人もいれば、遅い人もいます。テストで高い得点をとる人もいれば、素晴らしい作品を仕上げる人もいます。興味や関心、家族構成、悩んでいること等、どれをとっても一人として同じ人はいません。共通するのは、一人一人が、自分らしさという異なる色の命の光を持ったかけがえのない存在だということです。しかし、たった一人ではその光を放つことはできません。自分らしさという光を輝かせるためには、他者の存在が必要なのです。だからこそ、互いを尊重し合うことを通して、成長することができるのです。そのために必要なのが「思いやる心」のスイッチです。思いやりは人の心を温かくし、生きる勇気を引き出してくれます。一人一人の「思いやる心」のスイッチが入っていれば、いじめや周りに迷惑をかける行為はなくなると私は信じています。皆さんは将来、今よりもずっとたくさんの、多様な考えを持った人たちと出会い、共に生きていくことになります。自分を輝かせ、よりよい人間関係づくりの基礎を身につけるために「思いやる心」のスイッチをいつもONにしてください。

三つ目は、「鍛える心」のスイッチです。夢や志を持って何かを成し遂げようとするとき、失敗してもくじけずに挑戦を続け、乗り越えていく「しなやかでたくましい心と体」が大切になります。植物にたとえるなら、根っ子の部分を、深く、広く、太く張り巡らせるということです。地面の中にある根っ子は、目には見えませんが、そこがしっかりとしていれば、困難や試練に耐え、大きく成長することができるのです。中学校生活のあらゆる場面で自分の心と体を鍛え、将来を支える土台をしっかりと作りましょう。

「学ぶ心・思いやる心・鍛える心」この三つの「心のスイッチ」を入れ、日々自立に向かって成長していく皆さんの姿を期待しています。

二・三年生の皆さんも、自分は三つの「心のスイッチ」がしっかり入っているのか改めて振り返るとともに、言葉や行動でその具体的な姿を示し、一年生を導いてください。

新入生の保護者の皆様におかれましては、お子様のご入学、誠におめでとうございます。中学校三年間は心身の成長がめざましい反面、不安定になりやすい時期でもあります。しかし、どの生徒も素晴らしい可能性を持ったかけがえのない存在であり、地域の宝です。生徒のよさや可能性を最大限に引き出し伸ばすのが、保護者や教職員の責務と考えます。そのために、これから三年間、学校と家庭との信頼・連携を一層密にして進めることができますようお願い申し上げます。

終わりに、四十四名の新入生にとって、本校での三年間がかけがえのない学びの時となることを願い、式辞と致します。

令和4年4月6日 須坂市立東中学校長

本年度転入職員の紹介 よろしくお祈いします！

◇令和4年度のスタートにあたり、以下の職員を新たに本校に迎えました。

保護者・地域の皆さまには、これまで同様に温かいご支援をいただきたいと思ひます。



保護者懇談会・家庭訪問について

本校では、本年度も学校職員と保護者の方との懇談の機会を重ねてもつことで、生徒皆さんの成長をともに支えていきたいと考えており、4月12日(火)・13日(水)に個別懇談会(希望がある場合のみ)を行います。詳細については、配布された通知をご覧ください。また、夏休みと12月には全学年で個別懇談会を予定しています。よろしくお祈いいたします。

欠席・遅刻・早退について 保護者の方の連絡が必要となります

○欠席・遅刻・早退する場合

8:00 から 8:15 までに学校へ連絡をお願いします。欠席(遅刻・早退)の理由もお知らせください。体調不良や通院の場合は具体的な症状もお知らせください。(発熱、けがの部位など)

○本人からの連絡の場合は、保護者の方に確認をさせていただきます。また、欠席・遅刻・早退の連絡がない場合は、勤務先等へ電話をかけさせていただいたり、家庭訪問をさせていただいたりする場合があります。

○遅刻・早退は、安全確保のため、原則保護者の送迎をお願いします。

※平日部活動終了時間～翌日の朝 8:00 まで、休日は留守番電話対応になります。長期休業中については、休み前にお知らせいたします。また、以下のメールアドレスでのご相談も受け付けています。【 E-mail : soudan@azuma-school.ed.jp 】 宜しくお祈いいたします。